

### サスティナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクトを考える ～大震災と千葉エリアの創造的プラットホームづくり～

**会場** 日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス 37号館 101教室 (千葉県習志野市泉町 1-2-1)

**日時** 2011年10月7日(金) 16:30~19:30

千葉エリアの持続可能な社会資本・環境の創生と継承に向けたガイドラインづくりの方向性を探ることを目的として、異なる観点から取り組まれているまちづくり事例、取り組んでいる方々を交えて、持続可能なまちづくり(SAD)とその担い手(CA)について議論を深め、継続的な交流活動を促し、地域主体の活動・組織づくりに向けて検討してきました。そこで今回は、東日本大震災と震災後の状況を踏まえて、様々な価値観の変化(エネルギー、安全・安心、都市・福祉政策、歴史・文化、景観、生活環境、コミュニティ等々)とこれからのまちづくりについて議論を深め、次世代へと繋がる創造的プラットホームづくりとその体系化について展開していきたいと考えています。

#### プログラム

司会・コーディネート 川岸梅和(日本大学、SAD&CA千葉WG)・太田安則(SAD&CA千葉WG)  
海老塚良吉(SAD&CA千葉WG)・成岡茂(SAD&CA千葉WG)  
副司会・記録 北野幸樹(日本大学、SAD&CA千葉WG)

#### 基調講演

**延藤安弘**(愛知産業大学大学院造形研究科教授、NPO法人 まちの縁側育くみ隊 代表理事)  
「大震災をきっかけとした価値観の変化とこれからのまちづくり」  
**高橋賢一**(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 代表)  
「大震災における重要伝統的建造物群保存地区の取り組み」

#### パネルディスカッション

##### パネリスト

**延藤安弘**(愛知産業大学大学院造形研究科教授、NPO法人 まちの縁側育くみ隊 代表理事)  
**高橋賢一**(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 代表)

##### コメンテーター

**麓 佳正**(日本建築学会 千葉支所長)

**共催** 日本建築学会千葉支所  
サスティナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト 千葉WG

**後援** 千葉県、我孫子市、市川市、柏市、香取市、鎌ヶ谷市、鴨川市、館山市、千葉市  
流山市、習志野市、船橋市、日本建築学会まちづくり支援建築会議  
NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 他

資料代・参加費 一般 1,000円  
学生 500円

#### お問合せ

SAD&CA 千葉WG  
日本大学 生産工学部 川岸研究室  
E-mail: kitano.koki@nihon-u.ac.jp  
TEL: 047-474-2489(北野)

#### アクセス

- JR津田沼駅下車  
北口4番バス乗場(京成バス)乗車  
日大生産工学部下車  
(所要時間約15分)
- 京成大久保駅(京成電鉄)下車  
徒歩約10分

